

— 東日本大震災への災害支援 —  
山田養蜂場グループの従業員4名が  
第9回 被災地ボランティアに参加します

2013年3月11日で、東日本大震災から丸2年が経ちます。改めまして、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

山田養蜂場グループ（本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生）の従業員4名が、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方の一日も早い復興を願い、被災地ボランティアに参加いたします。

今回で、従業員のボランティア参加は第9回目、参加人数はのべ37人となります。

内容の詳細は、以下のとおりです。

※東日本大震災に対する、これまでの山田養蜂場グループの支援活動については、2、3枚目に記載しております。

**【ボランティア参加期間】**・・・3月9日（土）～3月16日（土）

＜ 従業員・4名 ＞

齊藤（23歳・女性）、平山（25歳・女性）、竹村（21歳・女性）、浪花（54歳・女性）

**【ボランティア先】**・・・岩手県遠野市遠野町（NPO 遠野まごころネット）

遠野市を拠点として、沿岸地域での支援活動に参加。

現地での活動は、その日ごとに必要とされる支援内容に応じて決定します。

一般的には、家屋の整理、清掃、ボランティア運営の事務などを行う予定です。

以前は、新聞やテレビなどで頻繁に報道されておりましたが、最近では、その頻度も少なくなり、被災地の情報が少なくなってきました。現地の復興はまだ遠いようです。山田養蜂場グループでは、今後も被災地への支援を継続して行ってまいります。

— 本件に関するお問い合わせ —

株式会社 山田養蜂場 文化広報室 柏原・寺田  
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194  
TEL:0868-54-1906（月～金 9:00～17:30、土日祝除く）  
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>

— 東日本大震災におけるこれまでの支援内容 —

【従業員のボランティア参加について】

	ボランティア先	参加期間	参加人数
第1グループ	岩手県陸前高田市 遠野市を中心とした 被災地	2011年 5月30日(月)～6月5日(日)	3名
第2グループ		2011年 6月27日(月)～7月3日(日)	5名
第3グループ		2011年 7月8日(金)～7月10日(日)	1名
第4グループ		2011年 10月24日(月)～10月29日(土)	7名
第5グループ		2011年 11月30日(水)～12月3日(土)	1名
第6グループ		2012年 2月4日(土)～2月12日(日)	2名
第7グループ		2012年 9月15日(土)～9月22日(土)	6名
第8グループ		2012年 11月10日(土)～11月17日(土)	8名
第9グループ		2013年 3月9日(土)～3月16日(土)	4名
		合計	37名

今回のボランティア参加は4名で、第9グループになります。合計37名

【支援金、寄付金について】 総額 142,750,439 円

	拠出内容	金額
1	支援金 (山田養蜂場グループ、グループ従業員からの募金)	115,833,119円
2	・会員様からの寄付 (山田養蜂場 東日本大震災支援金) ・キャンペーン売上の一部 ・社内チャリティバザーでの売り上げ	20,120,000円
3	・会員様からの寄付 (山田養蜂場 東日本大震災支援金) ・キャンペーン売上の一部 ・社内チャリティバザーでの売り上げ	5,637,320円
4	山田養蜂場 東日本大震災支援金 (大槌高等学校 新入生制服支援金)	1,160,000円
	合計	142,750,439円

2のAMDA<sup>\*1</sup>への寄付については、以下の通りに活用されています。

- ・AMDA 東日本大震災国際奨学金 支援金<sup>\*2</sup> 3校 (43名3年分) 15,120,000円  
支援校：県立釜石商工高等学校(岩手)、県立志津川高等学校(宮城)、仙台医健専門学校(宮城)
- ・AMDA 健康サポートセンター 支援金<sup>\*3</sup> (建設費用) 5,000,000円

【支援物資について】

	商品	個数	お届け先
1	ローヤルゼリーキング(45粒入) (健康食品)	15,000袋	AMDA
2	はちみつキャンディー(6粒入)	30,000シート	
3	みつばちクレヨン	900箱	
4	スケッチブック	900冊	
5	従業員の持ち寄り物資	日用品や食料品など、段ボール20箱分	経済同友会
6	RJスキンケアお試しセット (化粧品)	2,288セット	岩手県
7		800セット	宮城県亘理町
8		1,500セット	宮城県東松島市
9		4,400セット	宮城県南三陸町
10		200セット	宮城県気仙沼市
11		無添加シリーズ固形石けん (グループ会社 ロゼット株式会社)	1,800個

被災地の避難所で生活をされている方々の栄養補給や体力維持にご活用頂きたく、蜂蜜やローヤルゼリーを2011年4月11日(月)にAMDAを通じて寄贈いたしました。また、子供たちの心の負担を少しでも軽減できることを願い、みつばちクレヨンとスケッチブックも合わせて寄贈いたしました。

補足内容

※1. AMDA (アマダ)

1984年に設立、本部は岡山市。2001年8月30日、岡山県より「特定非営利活動法人」格を取得。相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して活動を実施しています。国連経済社会理事会(United Nations Economic and Social Council)より「特殊協議資格」を取得しています。

※2. AMDA東日本大震災国際奨学金

被災地の高校5校(岩手県立大槌高等学校、岩手県立釜石高等学校、宮城県立志津川高等学校、岩手県立釜石商工高等学校、岩手県立大船渡高等学校)及び、医療専門学校1校(仙台医健専門学校)、全6校に在籍する学生を対象として奨学金を支給しました。被災地の今後を担う学生らを人材育成の面から支援すると同時に、奨学生が国際人としての視野を養うこと、そして将来には後輩へチャンスを与える人材に育ててほしいという願いも込められています。返済の必要はありません。

※3. AMDA健康サポートセンター

高齢者の多い被災地の健康をサポートするべく鍼灸とマッサージで被災者の健康をサポートします。また現地の被災した鍼灸師をバックアップすることによって、コミュニティーに根差した医療を目指します。同時に、明治国際医療大学と協力のもと、「地元鍼灸師支援」や「緊急活動の現場で活躍できる人材育成」を図ります。被災した県立大槌病院が仮設診療所を開設するにあたり、その近くに土地を借用し、2012年1月にAMDA健康サポートセンターを建設しました。建設には、近畿大学、日本福祉大学のまちづくりの専門家が同プロジェクトを監修し、地元の木材を使用し、地元の建設業者にも協力をいただきました。

【お問い合わせ】AMDA ボランティアセンター  
 Tel:086-252-7700                      fax:086-252-7717  
 http://www.amda.or.jp/              mail:member@amda.or.jp